ゆずりはの森から

第138号
2014年10月1日発行

NPO法人
ゆずりは学園

小学生
中学生
高校生
大学生
社会人

大丈夫の判断は周りの人の理解と協力で

大型バスがゆっくり入って来ました。秋晴れの天気にも恵まれた日でした。でも朝までは、かなりの雨で、名古屋駅の東山線が水に浸かるような状態に、はるか遠くから2時間30分をかけて、少年センターの皆さん26名がゆずりは学園までバスを走らせてきました。みんな青少年の世話に当たって見えます。

まず雨上がりの森の中に。森も何日もしないと草や枯れ枝やクモなどいろいろな自然が整然さを少しずつ乱していきます。パパさんやスタッフさんたちはいつも山と海の自然に立ち向かっています。きれいさを保つには、人が絶えず心や目をむけるしかありません。農園にも草が生えてきます。またシェモアの階段にも、何時間もしないうちに、クモが自分の世界を作ります。今日は御嶽山の噴火もありました。自然の警告はあったのです。でもどこまでいったら、危険かその予測はやはり難しいです。

ゆずりはの森は多分大丈夫です。また三河湾の津波も多分大丈夫です。でも完全に大丈夫のものはありません。だから絶えず心と目を向けます。子ども達も同じです。

「まだ時間がある。まだ大丈夫」と思っていたときに、私達は大切な子どもの命を失った過去の苦い、苦しい経験があります。「大丈夫」ということは、自分でもなかなか分からないものです。ましてや他人が大丈夫の判断などは出来ないのです。

アルバイトの体験、経験はなかなか一人では難しいです。対人関係に不安があればこそ、慣れない人や環境に慣れるまでに、心が折れることもあります。だから私達は、ゆずりはチームを組み、慣れた仲間と一緒にアルバイトに行かせます。「大丈夫だよ」の言葉を言います。慣れて働くことの不安を少しでも減らしたいと思っています。大丈夫の判断は、周りの人の理解、協力があって初めて大きな一歩を踏み出せるのです。補導員の方々も、私達もみんな子ども達のことが大好きなのだと感じました。遠くからの訪問者でしたので、時間は短かったけど、有意義な時間を過ごすことが出来たと丁寧なお礼状も届きました。

小牧市少年センター
補導員さんの訪問（9/25）

ボランティア体験を通して学ぶ子ども達

私達の学園には小学生から青年が通っています。過去に不登校やひきこもりを経験した生徒もいます。最近はルールや友達との関係で初めから、このゆずりは学園を選ぶ生徒も増えてきました。先日皇室の学習院ばなれが記事になっていましたが、自分で進路を決められることはとても大切だと思います。どこにもルールがあります。自分に合ったところを選び、進むのは初めからストレスのないところを選択できる良さがあります。転校も認めてくれる高校もあれば、退学しか許可しない高校もまだあります。車の中でしかレポートの出来なかった生徒が、今は仲間を作り働き社会の一員になっています。子ども達にその時、その時に応じた対応があれば、どの子も必ず自分の進む道ができると思っています。

この14年、いつも子ども達と社会との接点を探ってきました。フリースクールとして立ち上げた時は、小学生1人、中学生1人でした。2年目12人になった時、学園の周りを道に落ちているゴミを拾いながら散歩しました。話しながらゴミを見つけたら拾う作業は、子ども達との自然なコミュニケーションの場です。森のスクールから海岸に出ます。今度は海岸のゴミ拾いになります。小さな学園の小さなゴミ拾いが、今は毎回1、000人もの団体、企業の参加する活動として、この10月4日、5日に行われます。本当にわずかな時間できれいになる海岸を見て、多くの人々の力に驚きと感謝です。第6回の「里海ビーチクリーン」はゆずりは学園から2キロ範囲にある白谷海岸からゆずりは学園前、そして渥美半島伊良湖岬までの海岸清掃になっています。今回はトヨタ会社からは500人来て下さいます。

都市からのゴミ、船からのゴミ、生活ゴミも多く海岸に流れ着きます。スナメリも3、300頭生息するという貴重な三河湾をきれいにしたい思いもあります。「気になって」始めた活動は、東北大震災の4年間続いている支援活動も、こうした海岸清掃活動も、多くの地域社会と、このゆずりは学園の子ども達が交流する貴重な場にもなっています。子ども達、生徒も受け付けから清掃の準備とかかわり、豚汁、カレーライス作りにも協力参加します。どの体験も彼らの自分育ての場になってくれると思います。

小さな里海の駅
「ゆずりは横丁」

第7回
［次回予告］
10月19日(日) 9時～13時
（場所）ゆずりは学園
毎月第3土曜日が準備
翌日の日曜日がゆずりは横丁

［開催予定日］
10/19・11/16・12/21・1/18・2/22・3/22

（連絡先）ゆずりは学園 0531-22-3515
http://www.yuzuriha-gakuen.com/

東日本大震災　NPO法人 ゆずりは学園
4年目に入る震災支援

参加者へ呼び掛ける3つの事
① 被災した皆さまの苦しみを分かち合う事
② 今、ここにある命に感謝する事
③ 資源は無限にないことを知り、節約し、助け合う事

2013［3年目］

1/19●大根、ミニトマト　福島市仮設住宅
2/16●ブロッコリー8箱　南相馬市仮設住宅
2/18●雑巾300枚　宮城県亘理町荒浜小学校
3/12●宮城県亘理町仮設・福島県避難仮設
4/9●野菜　宮城県亘理町
5/16●手作り玉ねぎ9箱、ベビーコーン1箱、手作り味噌2箱　福島仮設住宅
6/4●レタス1800個（188箱）　福島仮設住宅、宮城県（雄勝町、女川町、亘理町）
8/17●ゴーヤ　福島仮設住宅
8/25●玉ねぎ、そうめん（長仙寺・医王寺・九聖院より）　福島仮設住宅
10/22●ミニトマト　福島仮設住宅
11/30●冬用スパッツ、靴下8,000足　福島仮設住宅24箇所
12/6●みかん12箱　福島仮設住宅5ヶ所

2014［活動報告］

1/13●衣類　宮城仮設住宅
2/16●野菜　福島仮設住宅
3/15・16●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、そのほかの野菜、果物130ケース　仮設住宅（宮城、岩手、福島）
4/23●布生地　福島仮設住宅
5/1●甘夏みかん　仮設住宅（宮城、福島）
5/10●夏みかん、タマネギ　福島仮設住宅
6/9～12●宮城、福島へ訪問支援（野菜、おもちゃ）
6/21●ミニトマト　福島仮設住宅
7/9●ドライフルーツ　福島仮設住宅
8/18●そうめん段ボール5箱（長仙寺・医王寺より）　福島仮設住宅
9/25●夏野菜　蓬莱若枝幼児園

お問い合せ・連絡先
ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515　FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

お知らせ
自閉症・アスペルガー等の
「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会（154回）
○日時／10月10日(金) PM1:30～3:00
○場所／ゆずりは学園
（毎月第2金曜日 11/14・12/12・1/9）

NPO法人 ゆずりは学園
会員希望者
募集!!
●賛助会員
年会費2,000円
●正 会 員
年会費5,000円
●寄付／自由

三菱東京UFJ銀行
（普）田原支店
□座名義／ゆずりは学園
理事　沓名智彦
□座番号／3627714

お便りを郵送します。
お名前・ご住所をご連絡下さい。